

ヒロロ(ミヤマカンスゲ)

(学名: *Carex Multifolia*)

[カヤツリグサ科 スゲ属]



ミヤマカンスゲは北海道から九州の山地に広く分布し、多年生草本で毎年春先に新しい葉を展開し古い葉と置き換わります。常緑で冬にも緑色の葉を保っています。高さは20~50cmほどになり、葉は根元から多数生えて線状で幅が5~10mmで強靱です。根元の鞘は赤褐色~赤紫色なのが特徴です。只見町ではヒロロと呼ばれていて、町内の山野に自生しています。

只見町では、マタタビ、アケビ、クルミ、ヤマブドウ、シナ皮など様々な天然資源を利用した伝統工芸が受け継がれています。ヒロロ細工もそのひとつで工芸品として細かな模様を編み込んだバッグなどが作られています。昔から冬の手仕事としてヒロロを使って蓑、ハバキ、コシカゴ、ショイカゴなど生活用具が作られてきました。ヒロロは9月頃に採取し、束ねて風通しの良い場所で乾燥させてから、株でまとまっている束をほぐして縄をより、その縄を編み組み作り上げていきます。右上の写真は、町内の方が作った美しい模様のバッグ、乾燥させたヒロロと縄です。

企画展示

「只見の天然資源とその利用」

期間:10月25日(土)~12月28日(日)まで

ブナセンター
料理教室

「只見のそばを食べる！」

日時:11月22日(土) 10:00~13:00頃

講師:平出 美穂子 氏

予約・問い合わせ先: 只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください